

鉄道安全報告書

平成 27 年度版



平成 28 年 9 月
のと鉄道株式会社

平成28年9月

安全報告書

のと鉄道株式会社

1. 経営責任者からのメッセージ

弊社の鉄道事業に対しまして、日頃のご利用とご理解に厚く感謝申し上げます。平成27年度は、列車運行による鉄道運転事故、インシデント及び社員の取扱い誤りによる鉄道運転事故の発生はございませんでした。全社員一丸となつて、事故防止意識を高め、運行の安全・安心を最優先に進めてまいりました。

特に、社員の取扱い誤りをなくすため、事故となる前の事象ヒヤリハットを、作業者間で共有し、お互いに話し合いのできる職場作りに取り組み、事故の芽を摘んでまいりました。

設備面では車両、線路、踏切等の検査・保守を確実に実施、設備更新や構造物(トンネル、橋梁等)の長寿命化に力を入れてまいりました。

また、最近は気象変動による、短時間豪雨、強風、湿雪による倒木等の自然災害が増加し、列車の運行に当たっては、都度、安全確認のため線路、構造物等の点検実施後、運行を再開してまいりました。お客様にはご不便をお掛けしますが、ご理解のほどお願い致します。

今後も、社員の技術・知識やメンタル面での教育・訓練を実施するとともに、管理・責任体制を明確にし、安全・安定輸送の強化を更に図っていく所存でございます。

この安全報告書は鉄道事業法に基づき、安全確保の取組みや安全の実態について公表するものです。この報告書に対する貴重なご意見を頂ければ幸いに存じます。

2. 安全の基本方針と安全目標

(1) 安全の基本方針

安全・安心な輸送を最優先させるため、「安全行動規範」に定め、全社員に周知しています。

安全行動規範

- 1 一致協力して、輸送の安全確保に努めます。
- 2 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解すると共にこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- 3 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- 4 職務の実施にあたり、推測によらず、確認の励行に務め、疑義のある場合は最も安全と思われる取扱いをします。
- 5 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全、適切な処置をとります。

(2) 安全目標

平成 27 年度は前年度に引続き、下記の安全目標に取り組み、鉄道運転事故及び社員の取扱誤り「ゼロ」を目指して取り組んでまいりました。

区 分	項 目	内 容
数値目標	鉄道運転事故・輸送障害	社員の取扱誤りによる鉄道運転事故「ゼロ」
行動目標	トップによる現場巡視と対話	年 4 回実施
	ヒヤリハットの取り組み	定着に向けて継続実施

3. 平成 27 年度 鉄道運転事故及び輸送障害等の発生状況

鉄道運転事故の発生はありませんが、気象状況がここ数年来変動してきており、災害による輸送障害が増加、短時間の集中豪雨や強風、湿った降雪による倒木などで運転規制が発生、このため、これまで以上に、線路の点検及び巡回を徹底し、安全を確認した上で、運行を再開してきました。

全体の輸送障害は 28 件と昨年と比較して 5 件の増加となりました。

【事故・障害等の件数】

(1) 鉄道運転事故(列車衝突、列車火災、列車脱線、踏切障害事故等)
 0 件

(2) 輸送障害
 自然災害による障害(雨、風、降雪等) 9 件
 設備故障による障害(信号、踏切等) 4 件
 第三者による障害(置き石、遮断機破損、踏切支障スイッチ等) 9 件
 社員の取扱不良(伝達不良、信号扱い遅延) 4 件
 その他(動物等によるもの) 2 件

(3) インシデント(事故に至らない事故の兆候)
 発生はありません。

(4) 行政指導等
 ありません。

※ 「運転を見合わせた時間の合計」 7 時間 41 分
 「列車の運休本数」 35 本

※ 【年度別運転事故等の発生状況推移】

年 度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
鉄道運転事故	0	0	0
輸送障害	28 (1)	23 (4)	28 (4)
インシデント	0	0	0

() は社員の取扱不良による障害件数を示します。

4. 安全重点施策の内容と進捗

(1) 設備の改修

設備の取替、改修等により安全性向上を計画的に進めてまいりました。

線路設備	レール更換、分岐器更換、枕木更換(橋マクラギ含む)、橋梁塗装、線路内支障木伐採、MCロータリー塗裝修繕、
電気設備	信号機器等の経年取替、踏切関係機器点検整備、全方向型踏切警報灯の交換(2箇所)
車 両	重要部検査2両、エンジン整備、車両部品整備(CP整備) 車輪削正2両、車両用冷房機器修繕

(2) 社員の教育訓練

輸送指令員、運転士、駅係員、車両・工務係員の教育訓練はそれぞれの職種に合わせて実施、訓練の内容は異常時の取扱、事故事例の研究、現車を使用しての訓練等により、技術・知識の習得を中心に行いました。

輸送指令員・駅係員	月1回、(1時間/1回)	異常時の取扱、規程等
運転士	隔月1回、(2時間/1回)	異常時の取扱、規程等 現車訓練
車両・工務係員	年6回、(3時間/1回)	異常時の取扱、機器の取扱、規程、作業方法等

上記のほか、全社員対象に年2回(2時間/1回)の事故防止研修を行いました

能登鹿島駅信号取扱い訓練



レール遊間調整訓練



(3) JRとの合同訓練

七尾～和倉温泉間はJRとの共同列車運行区間であるため、JRとの合同訓練を毎年繰り返し実施しています。JR七尾鉄道部和倉温泉駅、のと鉄道田鶴浜駅を使い、各輸送指令の指示、隣接駅間の指示等を、臨時列車を運行し、当務駅長、運転士の取扱いも含め行っています。

平成27年度は7月16日、夜間に「伝令法施行による救援列車運転訓練」を行いました。



(4) JR金沢支社総合事故対応訓練及び県警本部テロ対応訓練の参加

弊社では、大掛かりな訓練はできないので、他社等が行う訓練に参加し、対応方等について、事故発生の際の参考にしています。平成27年度は2件の訓練に参加しました。

JR金沢支社総合事故対応訓練

県警本部テロ対応訓練



(5) 雪害対策会議及び除雪体制

気象庁の降積雪予報、県沿線市町の除雪体制を参考に11月16日に雪害対策会議を開催、雪害に対する準備、除雪機械（ラッセル車）による線路除雪、駅構内等ホーム及びポイントの除雪には社員総出動体制とし、安全・安定輸送の確保に努めました。

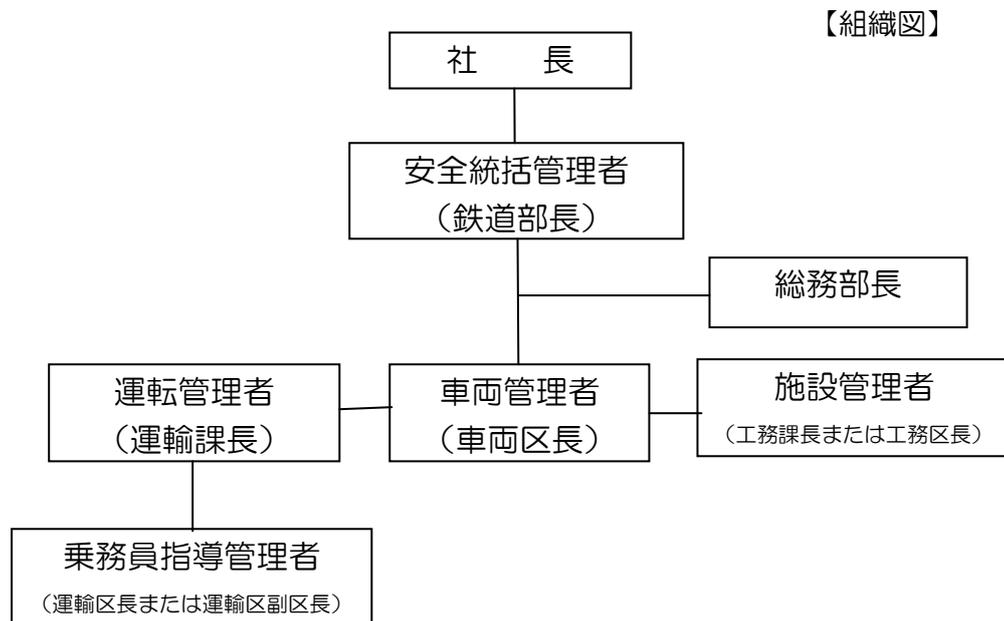
1月23日～25日の湿った雪の降積雪により線路内への倒木が発生、鉄道敷地内の雑木の伐採を急遽実施し、運行の安全を確保しました。

一方、冬期踏切事故防止のため、24箇所の踏切道の除雪を業者に委託し、スリップ等による踏切内での発進不能、脱輪等による踏切事故の発生を防止してきました。

5. 安全管理体制と方法

5-1 安全管理体制

(1) 安全管理組織



(2) 安全管理者等の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 (鉄道部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
総務部長	輸送の安全の確保に必要な財務に関する事項を統括する。
運転管理者 (運輸課長)	安全統括管理者の指揮下、列車の運行、運転士の資質の保持その他運転に関する業務を管理する。
乗務員指導管理者 (運輸区長または運輸区副区長)	運転管理者の指揮下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者 (工務課長または工務区長)	安全統括管理者の指揮下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者 (車両区長)	安全統括管理者の指揮下、車両に関する事項を統括する。

5-2 安全管理方法

安全会議の開催

会社全体の事故防止会議で、社長、鉄道部長、総務部長、運輸課長、工務課長、運輸区長、運輸区副区長、工務副区長等が出席して月 1 回開催してきました。

内容は、前月一ヶ月間の事故・障害等の報告をうけ、再発防止策を検討するとともに、ヒヤリハットや要注意事項について意見交換を行い、会議決定事項は関係社員への指示事項として発信、再発事故の防止を図りました。

また、安全上の緊急的な設備の修繕について検討し、工事実施をしました。

【主なヒヤリハット事象】

- 線閉記録簿への記載もれ及び確認漏れ
- 線路修繕作業時のタイマーセット忘れ
- 穴水構内入換作業の際、入換車両が踏切通過中に遮断機が上昇

この 7 年間、事故や障害に至らない些細な事柄も隠さず報告する社内の体質づくりを行ってきました。結果は良い方向に進みつつありますが、報告される件数は今年度も 7 件と少なく、更に報告し易い職場環境づくりに邁進してまいります。

【計画外の緊急工事】

- 鉄道敷地内支障木伐採工事…12 月 17 日降雪（湿雪）により倒木が発生、列車の運行に支障したため、笠師保～穴水間敷地内、雑木伐採緊急工事を実施した。

6. 安全対策の実施費用

平成 27 年度の安全対策に伴う費用（主に設備保守費）は下記のとおりで

項目	金額
施設関係	9,521 千円
電気関係	2,331 千円
車両関係	60,278 千円

あります

上記金額のほか、「鉄道軌道安全輸送設備等整備補助金」として
国：19 百万 県：19 百万 の助成補助がありました。

7. 利用者・沿線住民の皆様にお願ひ

毎年春と秋の全国交通安全運動に合わせて、踏切通行のマナーについて通行量の多い大町踏切を中心に啓発活動を行っておりますが、毎年数件「踏切支障」が発生しています。踏切横断の際は、一旦停止を必ず行い、遮断機及び警報機をしっかりと確認し通行をお願いします。

また、田畑への行き来、春の山菜取り、秋の苔取り等で線路内へ入る人を見受けます。鉄道敷地内への侵入により列車が緊急停止する事象も発生しており、非常に危険ですので、線路内歩行をしないようお願い致します。

【平成 27 年度踏切障害状況】

発生日	踏切名	状況
平成 27 年 10 月 9 日	長仙踏切	トラックによる踏切機器破損
平成 28 年 1 月 3 日	木場踏切	子供の置石（列車妨害）

※ 参考 平成 22 年 9 月 23 日 発生

西岸駅構内別所踏切 軽四トラックとの衝突事故（軽四トラック運転手重傷）



お問い合わせ

〒927-0026 石川県鳳珠郡穴水町字大町子 24 番地 2

のと鉄道株式会社

TEL 0768-52-4422

Fax 0768-52-4455